

提 言 書

令和5年10月18日

安曇野市議会

目 次

1. 高齢者支援のさらなる充実に向けて
～子どもや若い世代や地域とともに～ 1
2. 有害鳥獣対策と安曇野ジビエの振興について . . . 5

高齢者支援のさらなる充実に向けて
～子どもや若い世代や地域とともに～

福祉教育委員会

1 現 状

現在、わが国では少子化が急速に進行していて、平均寿命が伸び続けていることから、社会全体の高齢化が顕著である。65歳以上の人口（老年人口）が総人口に占める割合（高齢化率）が21%超の社会は超高齢社会と呼ばれるが、令和5年（2023年）8月1日時点の、安曇野市の高齢化率は約32%で、65歳以上の高齢者に占める75歳以上の後期高齢者の割合は約57%である。市の高齢化率は今後も上昇を続け、令和22年（2040年）には41%となる見通しである。令和5年（2023年）3月末時点の、市の第1号被保険者における要介護・要支援認定者数は5,446人で、ここ3年間は増加している。第1号被保険者に対する認定者数の割合（認定率）は、約18%である。

令和7年（2025年）には日本の高齢者の5人に1人、国民の17人に1人が認知症になると予測されていて、認知症予防には、運動や他人との関わりなどが必要であるとされている。一方で、地域を基盤とする「老人クラブ」の会員減少が止まらない。市シニアクラブの会員数は、コロナ禍の影響も考えられるが、平成30年（2018年）時点において4,008人であったが、令和4年（2022年）には2,162人に急減している。地域活動に参加している高齢者の割合は決して多くはない。

2 課 題

高齢化率が上昇する中、生産年齢人口は減少していて、看護師、介護士、ヘルパーなどの福祉サービス従事者の人材不足が課題となっている。また、核家族化や未婚化が進んでいることから、家族の支援を受けられない独居高齢者が増加していて、介護保険制度の充実とともに、地域において「助け合いの精神」の醸成も急がれている。

また、気候変動による夏季の猛暑や物価高騰など、暮らしの環境も厳しさを増す中、健康寿命を延ばし、生きがいを持ち続けられる地域社会の構築が必要である。高齢者が体力や気力や認知機能などの低下によって要介護に陥らないよう、適切な運動や社会参加などを促すフレイル予防活動やサロン活動などの活性化が求められている。

3 提 言

生きがいをもって暮らせる健康長寿のまち「健康長寿都市」のさらなる推進

（1）フレイル予防活動などへのさらなる支援

- ・フレイルや認知症や成年後見などへの理解のためのさらなる周知・啓発
- ・地域住民による相互扶助「支え合いや見守り」の必要性のさらなる周知・啓発

- ・運動の専門職が出向いて運動方法や継続するためのノウハウを伝えることや体力測定を実施して継続実施を促すことなどを含む「住民主体の通いの場の創出～自主運動サークル活動支援～」の推進（松本市参照）
- ・健康づくり推進員、体力づくりサポーター（運動支援ボランティア）、音楽健康指導士など、地域で運動指導の担い手となる市民の育成と連携・協力（松本市参照）
- ・健康運動指導士の増員による運動指導の充実
- ・歌と音楽を用いて気軽に運動ができる映像機器の設置を含む「歌と音楽を活用したフレイル予防」の推進（松本市福祉ひろば参照）

（２）サロン活動などへのさらなる支援

- ・地域活動やボランティア活動などの高齢者の活躍できる場や機会の創出へのさらなる支援
- ・高齢者（ふれあい）サロンなど的高齢者の居場所づくりへのさらなる支援
- ・送迎などの交通の便の確保・提供を含むサロン活動へのさらなる支援
- ・安曇野市社会福祉協議会豊科支所の「ひとり暮らし高齢者事業 いかねえ～かい」の取り組みへのさらなる支援と、全支所などでの全市的な取り組みにするための支援
- ・地域の伝統文化などの継承を含む高齢者と子どもなどの世代間交流の場づくりへのさらなる支援

（３）学び合いと交流ができる生涯学習の新しい学びの場などの創造

- ・既存の朗人大学などではなく、神奈川県大和市で行われている健康都市大学のような、市民自身が持つスキルや知識・経験を基に市民自身が講師となる、市民同士の学び合いと交流ができる生涯学習の場・プログラムの創造（神奈川県大和市「健康都市大学市民でつくる健康学部」参照）
- ・総合的な生涯学習講座や魅力的な文化芸術イベント・文化祭などへのさらなる支援（神奈川県大和市（生涯）学習センター参照）

（４）老朽化に伴う改修を含む高齢者福祉関連施設などの整備

- ・安曇野市社会福祉協議会が運営している５地域の（老人）福祉センターの施設の老朽化に伴う改修のさらなる推進
- ・安曇野市社会福祉協議会が運営している５地域の（老人）福祉センターは所有形態が異なっているので、所有形態の統一化の検討と、市からの補助の仕方の共通化により、利用者へのサービスのさらなる公平化の推進
- ・市の市民活動サポートセンターに活動拠点を設けるため、市の施設で安曇野市社会福祉協議会が運営している豊科ささえあいセンター にじ（安曇野市ボランティアセンター）との一体化を含む検討

- ・安心して居られ自発的な「世代間交流」が自然発生的に起こるような、図書館や博物館、生涯学習センターや市民交流センター、福祉センターや屋内こども広場などの機能を併せ持つ、交流型の複合施設の開設の検討（神奈川県大和市「大和市文化創造拠点シリウス」参照）

調査研究の経過

年月日	検討事項
令和4年10月7日	福祉教育委員会協議会 ・政策提言テーマについて
令和4年11月17日	福祉教育委員会協議会 ・各委員から提出された政策提言テーマ案を元に協議
令和4年12月20日	福祉教育委員会 ・政策提言テーマについて →テーマは、 「高齢者支援のさらなる充実に向けて ～子どもや若い世代や地域とともに～」に決定
令和5年2月6日	福祉教育委員会協議会 ・「安曇野市における高齢者支援の現状について」 (政策提言テーマの勉強会として) 市福祉部高齢者介護課職員と意見交換
令和5年5月30日	福祉教育委員会協議会 ・政策提言のための視察について ・安曇野市社会福祉協議会への視察（見学と勉強会）について
令和5年6月7日	安曇野市社会福祉協議会視察（豊科支所） ・安曇野市社会福祉協議会（（老人）福祉センターを含む） における高齢者支援の現状と課題について
	 
令和5年6月21日	福祉教育委員会協議会 ・政策提言に係る行政視察について

年月日	検討事項
<p>令和5年8月9日</p>	<p>行政視察 神奈川県大和市 総合政策課 人生100年推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施策について ・「70歳代を高齢者と言わない都市やまと」宣言について
<p>令和5年8月10日</p>	<p>行政視察 神奈川県大和市 文化創造拠点シリウス視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリウスについて ・健康都市大学について



年月日	検討事項
令和5年8月25日	政策提言に関する照会（通告質疑に対する回答） ・松本市における高齢者に関する取組状況について
令和5年8月29日	福祉教育委員会協議会 ・政策提言（素案）についての協議
令和5年9月5日	福祉教育委員会協議会 ・政策提言（素案）についての協議
令和5年9月5日	全員協議会 ・政策提言（素案）の中間報告 ・各議員の意見をもとに政策提言の修正等
令和5年9月14日	福祉教育委員会協議会 ・政策提言（素案）についての協議 ・議長への提案を決定
令和5年9月20日	議長へ政策提言案を提出
令和5年9月21日	議会改革推進委員会 政策討論会議テーマの確認
令和5年10月5日	政策討論会 ・提言書（案）について

有害鳥獣対策と
安曇野ジビエの振興について

経済建設委員会

1 現 状

安曇野市における、有害鳥獣による農水産物の被害は、鳥類では犀川付近の河川におけるカワウやサギ類による被害、果樹地帯におけるカラス類やムクドリ、ヒヨドリ等による被害、獣類では、西山地域におけるニホンザルによる被害、東山地域におけるニホンジカ、イノシシ等による被害が多く発生しています。

このような状況の下、本市においては、未然防止対策の一つとして、平成 23 年度より、広域獣害防護柵の設置を進め、住民個人で行う侵入防止柵や侵入防止装置への補助等を行い、カラス用とニホンザル用の大型捕獲檻を設置し、ニホンザルを追い払うモンキードック事業への支援や、GPS 首輪等による生息状況等の調査等を行っています。また、本年 8 月からはニホンザル追い払い隊が結成され、パトロールが始まりました。

2 課 題

市内の西山地域においては、広域獣害防護柵の未設置地域（穂高地域）や、柵を延長できない河川や幹線道路などの開口部より、ツキノワグマが頻繁に出没したり、ニホンザルが年間を通して里に出没し、農作物への被害や、民家の屋根へ登って瓦をはがしたり、民家の窓等を自ら開けて侵入し、食べ物等を物色するなどの環境被害が起きています。

市内の東山地域においては、ニホンジカを中心に果樹、野菜、稲を食べられたり、イノシシにより、農地をかき回される等の被害が起きています。

犀川周辺を中心とした河川においては、カワウ・サギ類による漁業被害が深刻な状況です。

3 提 言

このような状況の中で、更に有害鳥獣駆除対策を拡充し、住民が安心して安全に暮らし続けることができるようにするために、また、捕獲した有害鳥獣の命に感謝し、SDGs の精神に則り、観光資源としての活用を進めて、市内経済の活性化につながる事業となるように、以下の 2 点について提言します。

(1) 安曇野市猟友会・安曇野市有害鳥獣対策協議会への支援拡充

被害を減らす対策として、具体的な担い手である猟友会の若手の育成、また、張り合いを持って活動してもらえるように、国・県の報奨金等を活用し、安曇野市猟友会・安曇野市有害鳥獣対策協議会への支援の拡充を進めていくこと。

(2) 安曇野ジビエの振興および観光資源としての活用

市内で捕獲されたニホンジカ・イノシシ等のジビエを使って、市のメインディッシュとして、住民や観光で本市を訪れた方々に提供できる体制づくりを進めていくこと。

SDGs の精神に則り、皮・骨・角等をクラフト作品として加工し、観光資源としての活用を進めていくこと。

以上2点の提言について、市において積極的に取り組んでいただくよう要望いたします。

調査研究の経過

年月日	検討事項	
令和4年11月17日	経済建設委員会協議会 ・政策提言テーマについて協議	
令和4年12月19日	経済建設委員会協議会 ・政策提言テーマについて協議	
令和5年1月4日	経済建設委員会協議会 ・政策提言のテーマについて協議 →テーマは、ジビエ関係にすることを決定	
令和5年4月25日	経済建設委員会協議会 ・今後の調査及び研究内容について協議	
令和5年6月22日	経済建設委員会協議会 ・今後の調査及び研究内容について協議	
令和5年7月10日	経済建設委員会協議会 ・安曇野市猟友会 明科支部長 尾澤氏より、明科地域における現状と課題について話を伺い、意見交換を行う	
令和5年8月4日	視察研修 ・オーベルジュ・エスポワール（茅野市）のシェフであり、一般社団法人 日本ジビエ振興協会代表理事 藤木 徳彦氏より、ジビエ振興の現状と課題について話を伺う。 ・先進地である諏訪地域のジビエ振興について、長野県諏訪地域振興局 林務課より、諏訪地域の現状と長野県の取り組みについて、話を伺い、意見交換を行う。	 
令和5年8月7日	経済建設委員会協議会 ・視察を踏まえた意見交換 ・政策提言の内容についての協議	
令和5年8月21日	経済建設委員会協議会 ・政策提言の内容についての協議	
令和5年8月31日	経済建設委員会協議会 ・政策提言（素案）についての協議	
令和5年9月5日	全員協議会 ・政策提言案の中間報告	
令和5年9月15日	経済建設委員会協議会 ・政策提言案の最終確認 ・議長への提案を決定	
令和5年9月21日	議会改革推進委員会 ・政策討論会テーマの確認	
令和5年10月5日	政策討論会 ・提言書（案）について	